

ガイドライン内 事前協議チェックリスト (六木一丁目地区)

20240222
Ver.B.1
【様式B】

記入日	
計画名	

項目		配慮した内容	図面番号	照 合	
みどりが作る良好な住環境の継承による景観形成と、みどりにつながる周辺のネットワーク形成	みどりのネットワークによる景観形成	歩行者が四季を通して楽しめるよう、多種多様な樹種によるみどり空間を創出		<input type="checkbox"/>	
		地区内の広場や隣接する区立六木公園、更には近隣の公園へと、街路樹で繋がる連続した緑によるみどりのネットワークで連携		<input type="checkbox"/>	
		花畑川沿いの散策路、葛西用水親水路との連携を促すよう、地区の北東から北西まで連続した広場を整備し、みどりのネットワークを形成		<input type="checkbox"/>	
		地区中央の区道沿いは、歩道の街路樹によるみどり景観を補うよう、沿道緑化を拡充し、バス停利用者や歩行者が快適に過ごせる空間を創出		<input type="checkbox"/>	
		東、西街区の地区内通路沿いは、地区を特長づける既存樹木と新植する樹木による緑化に務める		<input type="checkbox"/>	
	既存樹木を保全活用した景観形成		既存樹木をできる限り保全することができる位置に広場を配置		<input type="checkbox"/>
			地区の南東にある広場は、既存のサクラを保全し、活用する広場として整備		<input type="checkbox"/>
			地区内にあるその他のサクラについても、住棟配置上支障のないものについてはできる限り保全活用に務める		<input type="checkbox"/>
			地区の南西にある広場は既存のイチョウを保全し、活用する広場として整備		<input type="checkbox"/>
			南西にある広場東側から北に伸びる地区内通路沿いや南東に伸びる区道沿いのイチョウも保全し、沿道緑化に務め、その他の地区内通路沿いのイチョウの一部についても保全活用に務める		<input type="checkbox"/>
			地区の北東部の緑地帯に植樹されている地域を特長づける多種多様な既存樹木はできる限り保全活用に務める (サクラ・ヒマラヤスギ・ハナミズキ・モッコク・ケヤキなど)		<input type="checkbox"/>
			地区内のその他の場所に植樹されている多種多様な既存樹木もできる限り保全活用に務める (モミジ・ツツジ・ハナミズキ・ケヤキ・カロリナポプラ・ヒマラヤスギ・カイヅカイブキ)		<input type="checkbox"/>

		地域を特長づける既存樹木のうち、良好な樹木を保全した上で、それらを補って新植する樹木の樹種に配慮し、四季を楽しめるみどり豊かな空間を創出			<input type="checkbox"/>
		地域を特長づける既存樹木の保全について、足立区所管部署と立会を行い、樹木の健康状態や建設工事の影響を踏まえて協議決定する			<input type="checkbox"/>
地域の拠点となる広場と歩行者ネットワークによる地域コミュニティの形成	広場空間の形成	地域交流や多世代交流できる地域のための憩いの場となるよう、地区の外周に面する位置に整備			<input type="checkbox"/>
		外周道路、地区内通路沿いにバランスよく分散して配置し、人々がスムーズに行き交うことができるように整備			<input type="checkbox"/>
		災害時に避難場所として活用できる十分なスペースを確保した広場を整備			<input type="checkbox"/>
		広場を設置する位置や現状の特性を活かし、それぞれ特長のある広場となるよう整備			<input type="checkbox"/>
	みどりのプロムナード	地区の北東から北西まで連なる『みどりのプロムナード』としてゆっくり散策できる場所となるよう整備			<input type="checkbox"/>
		多種多様な既存樹木を活用しつつ、新たに新植する樹木は四季を通して楽しめるような樹種を選定した、みどり豊かな景観を形成			<input type="checkbox"/>
		人々が木漏れ日を感じながら散歩できる快適な遊歩道を整備			<input type="checkbox"/>
		遊歩道沿いには、木陰スペースで休息できるような適所にベンチを配置し、人々がくつろいで過ごせる場所となるよう整備			<input type="checkbox"/>
		『みどりのプロムナード』北西にあるバス停付近の歩道沿いに、バス利用者や道行く人々が休憩できるよう、腰掛けられるスペースを整備			<input type="checkbox"/>
		サクラの広場	地域に親しまれているサクラをできる限り保全活用した上で、それを補うようサクラを新植した『サクラの広場』として整備		
現状の広場の位置から地区コーナーまで広場の一部を拡張することで、より地域に開かれた、多世代が交流できる地域の拠点となるよう整備				<input type="checkbox"/>	

		災害時には隣接する区立中川北小学校と一体的な避難場所として活用できる十分な空間を確保する			<input type="checkbox"/>
	イ チ ョ ウ の 広 場	地区内通路からつながる既存のイチョウをできる限り保全活用した『イチョウの広場』として整備			<input type="checkbox"/>
		隣接する区立六木公園との連携を意識した歩行者動線となるように緑道と入口を配置する			<input type="checkbox"/>
		区立六木公園と行き来しながら、地域の活動や子供たちが遊べる場所となるよう整備			<input type="checkbox"/>
		歩行者ネットワークの形成	地区内の広場と広場・地区周辺の区立公園、公益施設、商業施設、住宅地などをつなげ、地域のコミュニティを広げる歩行者ネットワークを形成		
	歩 行 者 ネ ッ ト ワ ー ク の 形 成	散策路の整備が進められている花畑川、葛西用水親水水路沿いの遊歩道といった地域資源の連携を深める歩行者ネットワークを形成			<input type="checkbox"/>
		主要な歩行者ネットワークには、歩道や歩道上空地の整備により、歩車を分離する			<input type="checkbox"/>
		歩行者ネットワークの形成	地区中央の区道沿いのバス停付近及び、中川北小学校の通学路に指定されているその南側の交差点付近は、バス停利用者や学童等の歩行者の安全に配慮し、歩道上空地を広く確保して人だまり空間を設ける		
	歩 行 者 ネ ッ ト ワ ー ク の 形 成	主要な歩行者ネットワーク沿いには、見通しを確保したコーナー部分の設えや樹種の選定、適切な照明配置、幅員の確保等、安心安全な歩行者空間となるよう整備			<input type="checkbox"/>
ま ち 街 並 み 景 観 の 形 成 ゆ と り あ る		建 物 配 置 や 建 物 高 さ	解放感のある空間づくり	周辺地域への圧迫感を緩和するため、道路や主たる地区内通路から建物の壁面位置を後退させる。特に北側地区は緩衝帯として広場を配置し後退距離を大きくする	
	壁面後退により生まれた空間を活用して、厚みのある沿道緑化を行い、みどり豊かな歩行者空間を形成する				<input type="checkbox"/>
	地区の北側及び、南西、南東のコーナーに広場を配置することにより、開放感のあるオープンスペースを創出する				<input type="checkbox"/>
	オープンスペースや住棟間の距離を十分に確保した建物配置とすることで、周辺地域と調和のとれたゆとりある景観を形成する				<input type="checkbox"/>

		北側から南側へ、中央から東西へ建物高さを低くしたスカイラインにすることで、周辺地域から変化が感じられる景観を形成			<input type="checkbox"/>
要素別景観形成指針	ユニバーサルデザイン	高齢者や障がい者を含めたすべての人に配慮した思いやりのある誰もが使いやすいデザインの設えとする			<input type="checkbox"/>
	屋外施設	駐車場等の屋外施設は、道路や広場からの見え方及び防犯に配慮			<input type="checkbox"/>
		駐車場は、生垣、植栽樹で死角をつくらないように計画			<input type="checkbox"/>
		駐輪場は、足元に低木を設けて緑化			<input type="checkbox"/>
		ごみ置き場は、緑化による目隠しや建物と一体感のあるデザインとする等景観に配慮			<input type="checkbox"/>
		屋外灯は、必要な照度が確保できるようバランス良く配置			<input type="checkbox"/>
		案内板等サインは、景観に変化を与えるポイント的なデザインとするとともに、周囲の建物との調和に配慮			<input type="checkbox"/>
		みどりのネットワーク沿いにおいては、ベンチ等を適宜設置し、休憩空間の形成に配慮するとともに、特長的な樹木には樹名板の設置を検討する等、親しまれる空間づくりを目指す			<input type="checkbox"/>
	舗装	通路や歩道上空地に用いる舗装素材はアスファルト素材とし、透水性のあるものを採用する等環境に配慮			<input type="checkbox"/>
		街角や車両の出入り口はその場の視認性を高める工夫を行う			<input type="checkbox"/>
		ユニバーサルデザインに配慮した舗装素材とする			<input type="checkbox"/>
	屋外広告	原則として屋外広告物を設置しない。案内板等は形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>
	環境や災害対策に配慮した取組み	雨水流失を抑制するため、足立区雨水流出抑制施設設置基準に基づき雨水浸透施設や雨水貯留施設を設置するとともに、透水性舗装の採用や敷地内を極力緑化する等、自然環境を保全、再生する取組みに務める			<input type="checkbox"/>
		建築物全体として省エネルギー化の推進や自然エネルギーの活用等に配慮			<input type="checkbox"/>
		コンクリートの再生砕石の利用など、リサイクル材の活用や廃棄物の削減に配慮			<input type="checkbox"/>

	住棟には、防災備蓄倉庫を1階だけでなく上層階にも設置し、地震時だけでなく水害時にも備える			<input type="checkbox"/>
色彩	本地区の色彩は「足立区景観計画における色彩基準」に基づき、色彩調和の取れた秩序ある景観を目指す			<input type="checkbox"/>
	都営住宅は色彩基準Ⅱに該当し、延べ床面積1,000㎡未満の建築物は色彩基準Ⅰに該当する			<input type="checkbox"/>
都営住宅の色彩	ベースカラーは、0YR～4.9YR（黄赤）系の高明度・低彩度のベージュ色とする			<input type="checkbox"/>
	サブベースカラーは、0YR～4.9YR（黄赤）系の中明度・中彩度とする			<input type="checkbox"/>
	エントランスや低層部において、サイン計画の一つとしてアクセントカラーを使用する場合は、サブベースカラーより高明度、高彩色の色相とする			<input type="checkbox"/>
	アクセントカラーは、建物のエントランスや低層部、街角等でアイストッパとなる部分、工作物等に効果的に用いる			<input type="checkbox"/>

(注) 太枠内のみ記入すること。
 なお、ここに記載がない事項についてはガイドラインに沿って十分配慮すること。